

(SDS) 安全データシート

作成 : 2023 年 3月1日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	フレンズクリアレジン S - B
会社名	トマト工業株式会社
住所	岐阜県関市富之保 3861-1
電話番号	0575-49-3648
緊急連絡先	090-1833-0454

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分 4

急性毒性(経皮) : 区分 4

急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない

急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性及び刺激性 : 区分 1B

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分 1

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分外

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 区分 2(肝臓,骨格筋)
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
水生環境有害性(急性)	: 区分 2
水生環境有害性(慢性)	: 区分 2
オゾン層への有害性	: 分類できない

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 飲み込むと有害 皮膚に接触すると有害 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ 水生生物に毒性 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

- 【安全対策】 : 取扱後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

- 【応急措置】 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。
- 気分が悪い時は医師に連絡すること。特別な処置が必要である。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 皮膚(または髪)に付着した場合
- : 汚染された衣類を直ちにすべて脱ぐこと。
- 皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ただちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合
- : 医師の診察/手当を受けること。気分が悪い時
- は、医師の診察/手当を受けること。
- 漏出物を回収すること。
- 【保管】 : 「7.取扱い及び保管上の注意」による
- 【廃棄】 : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業

者に業務委託すること。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名(別名) : エポキシコンパウンド B 液 成分及び濃度又は濃度範囲(主成分または危険有害成分対象)

成分名	CAS No.	含有量%	備考
アミン類	社外秘	85 ~95	
ベンジルアルコール	100-51-6	1 ~10	安衛法通知対象物質

4.応急措置

吸入した場合 : 分解・燃焼による蒸気ガスを多量に吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、必要に応じ、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水および石鹼で洗い流す。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。直ちに医師の手当、診断を受

けること。

5.火災時の措置

消火剤	: 粉末・炭酸ガス(二酸化炭素)・泡
使ってはならない消化剤	: 水 特有の危険有害
性	: 特になし
特有の消火方法	: 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所へ移す。
消火を行う者の保護	: 消化の際には、適切な空気補給器、化学用保護衣を着用 すること。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離
する。

関係者以外は近づけない。

適切な保護衣を着けていないときは破損した容器あるい
は

漏洩物に触れてはいけない。

風上に留まる。低地から離れる。

密閉された場所は換気する。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され環境への影響を起こさ
ないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

：危険でなければ漏れを止める。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止) 排水溝、下水溝、地下室、あるいは狭い場所への流入を防ぐ。

容器内に水を入れてはいけない。

7.取扱い及び保管上の注意 取扱

い

技術的対策 : 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

貯蔵ないし取り扱う作業場には洗顔器と安全シャワーを設置すること。

保護具を着用すること。

安全取扱注意事項 : 粉じんまたはミストを吸入しないこと。

取扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをする。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を再利用する場合には洗濯すること。

環境への放出を避けること。

保管

安全な保管条件 : 酸化剤、酸から離して保管すること。

変質を避けるため密封し、直射日光・湿気を避け常温・低湿の屋内に保管する。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材 : 軟鋼、鋼、アルミニウム、亜鉛には腐食性があるため、表面処理さ

れた鋼板あるいはステンレス容器に保管する。

8.

ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 : 日本産業衛生学会(2019年度版);25mg/m³ (最大許容濃度) (暫定)
ACGIH(2005年度版) ;未設定
- 設備対策 : 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
貯蔵ないし取り扱う作業場には洗顔器と安全シャワーを設置すること。
- 保護具 : 状況に応じて防毒マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。

9.物理的及び化学的性質

- 外観 : 淡黄色粘稠液体 臭い : アミン臭
- ph : 知見なし 融点・凝固点 :
- 知見なし 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 知見なし
- 引火点 : 混合物として知見なし 蒸気圧 : 混合物として知見なし
- 比重 : 1.03±0.1
- 溶解度 : 水に不溶、トルエン、酢酸エチル、アセトン等に可溶。
(無機分は不溶)

10.安定性及び反応性

反応

生
F Resin - B

: アルカリ性物質であり、また分子内にアミノ基を有してお
り、炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物及びイソシア
ネート化合物等と反応する。
EX0201-B

化学的
安定性

: 通常の手扱い条件において安定であるが、長時間の空気との接触では変質する

避け
るべき条件

: 過度の加熱、空気及び水との接触。

混触危
険物質

: 炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物及びイソシアネート
化合物等。

危険有害な分解生成
物

: アミン類、アンモニア、燃焼等による CO、NOx

有害性

情報

() 急
生毒性経口

: 区分 4

混合物の成分に基づく分類より LD50=581mg/Kg

() 急
生毒性経皮

: 区分 4

混合物の成分に基づく分類より

LD50=1100mg/Kg

() 急
生毒性吸入

: 分類できない

/ 皮
膏腐食性刺激性

: 区分 1B

区分 1B の成分を 10%以上含有するため。

眼に対する重篤な損/刺激性
害

: 区分 1

区分 1 の成分を 10%以上含有するため。

呼吸器
感作性

: 分類できない

皮膚感作		: 区分 1
生		区分 1 の成分を 15%含有するため
生		: 分類できない
植細胞変異原性		
発がん		: 分類できない
生		
生殖毒		: 分類できない
生		
/ () 標的臓		
器全身毒性単回暴露		: 分類できない
/ () 標的臓		: 区分 2(肝臓,骨格筋)
器全身毒性反復暴露		区分 2 の成分を 10%以上含有するため
誤えん有害性		: 分類できない

11.

12.環境影響情報

生態毒性 : 区分外 残留性・分解性
: 区分外
生態蓄積性 : 区分外
土壤中の移動性 : 混合物として知見なし
オゾン層への有害性 : 分類できない
水生環境有害性(急性) : 区分 2
水生環境有害性(慢性) : 区分 3

13.廃棄上の注意

「7.取扱い及び保管上の注意」による他、廃棄する場合は、関連法規に従って適切な設備で焼却するか、産業廃棄物処理業者に処分を委託する。

空容器は内容物を完全に除去した後、産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

14.輸送上の注意

国際規制

国連分類 : 9
国連番号 : 3082
品名 : 環境有害性物質(液体)
容器等級 : III

7.

「取扱い及び保管上の注意」による他、容器毎に栓の閉まり具合、漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、摩擦等容器の損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15.適用法令

消防法 : 危険物 第4類第3石油類 危険等級 III(非水溶性液体) 労働安全衛生法 : 57条の2「通知対象物質」を含有する。

※R6年施行物質までを含む

P R T R 法 : 非該当 毒物劇物取締法 :

非該当

船舶安全法 : 腐食性物質(危規則第2、3条危険物告示別表第1) 外国為替及び外国

貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1の16項に該当

16.その他の情報

引用文献 : JIS Z 7252:2019 GHS に基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

ラベル・製品安全データシート 作成実務必携 GHS 対応 国内版 化学工業日報社

※本書類に記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切なる措置をお取り下さるようお願い致します。